

啓発事業部会 平成26年度活動計画案

2014年5月26日

啓発事業部会 小池 勉
株式会社コンテンツブレイン

■啓発事業部会発足の趣旨（昨年度策定）

- ① JSSECが、一般社団法人化を契機に広く社会に貢献するため、経営戦略機能を強化し**積極的に啓発事業の展開**を行うことを目的とします。
- ② また啓発事業部会は、会員企業の**参加メリットを拡大**し積極的な活動をサポートします。
- ③ **入会の意義**を明確にして、新規会員企業の入会を促します。

■ 組織

啓発事業部会組織



■ 役割

セキュアコーディングガイド活用
DVD出版、書籍出版

■ 役割

子供・学生を対象とした
セキュリティー啓発教育ツール開発

様々な人材が必要です。新規メンバーを募集しておりますのでぜひご参加ください。

■事業内容（昨年度策定）

啓発事業部会には4つの事業があります。

①新規入会促進事業(部会全体の活動として)

②出版事業WG【短期的事業】

③教育事業WG【短～中期的事業】

本年度は
WG活動に注力
いたします。

④社会環境整備への関与(教育産業)【中～長期的事業】

■2013年度の実績

出版事業WG

JSSEC発行のAndroidアプリの教本がDVDになりました!

『Androidアプリのセキュア設計・
セキュアコーディングガイド』
解説DVD<基礎編>

Androidアプリの設計・コーディングを
もっと効率よく確実に!

¥2,857+税



販売数 約380枚



現在もアマゾンで公表発売中です。

教育事業WG

スマートフォンの安全、安心教育に取り組まれている企業、
団体、学校を調査し実態の把握を行いました。

■インタビュー調査

平成25年

- 6月26日 グリー株式会社
- 7月2日 KDDI株式会社
- 7月11日 LINE株式会社
- 7月18日 株式会社PFU ※非会員
- 7月18日 デジタルアーツ株式会社
- 7月19日 ソフトバンクモバイル株式会社
- 7月26日 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
- 8月1日 神奈川県警
- 8月16日 横浜市立庄戸小学校
- 8月20日 日本プロサッカーリーグ
- 9月4日 EMA (モバイルコンテンツ審査・運用監視機構)
- 10月25日 横浜市立浜中学校
(神奈川県警サイバー犯罪対策課同行)

■アンケート調査

横浜市中学校スマートフォン実態調査

■2014年度の活動目標（中長期的視点）

出版事業WG

本年度目標

Androidアプリのセキュア設計・セキュアコーディングガイド
のさらなる普及

①英語版電子書籍化

②教育ツール開発(webサイト・教育ツール)



中長期目標

JSSECとして資格制度を検討

■2014年度の活動目標（中長期的視点）

教育WG

本年度目標

『JSSECスマートフォンワークショップ』
体制作り

①JSSEC+大学生(大学)+関係機関との連携

②教育マニュアル等の作成



中長期目標 『JSSECスマートフォンワークショップ』を実施

②教育WG活動計画

『JSSECスマートフォンワークショップ』



1. 活動名 『JSEECスマートフォンワークショップ』(仮称)

2. 目的

スマホの安心安全な使い方を若い世代に訴求する



大学生と高校生の交流形式(ワークショップ)で授業

3. 実施方法（大学生が中高生に教える環境作り）

①講師育成

大学生がスマートフォンセキュリティ講師を育成する(アンバサダー)

※各大学・学生団体との協力

②教育ツール開発

JSSECと大学生チームの協業によるセキュリティ啓発プログラムの開発。

③ワークショップの実施

中学、高校に大学生講師を派遣して学年単位のワークショップを実施

④中学・高校生の意見をコンテンツ化

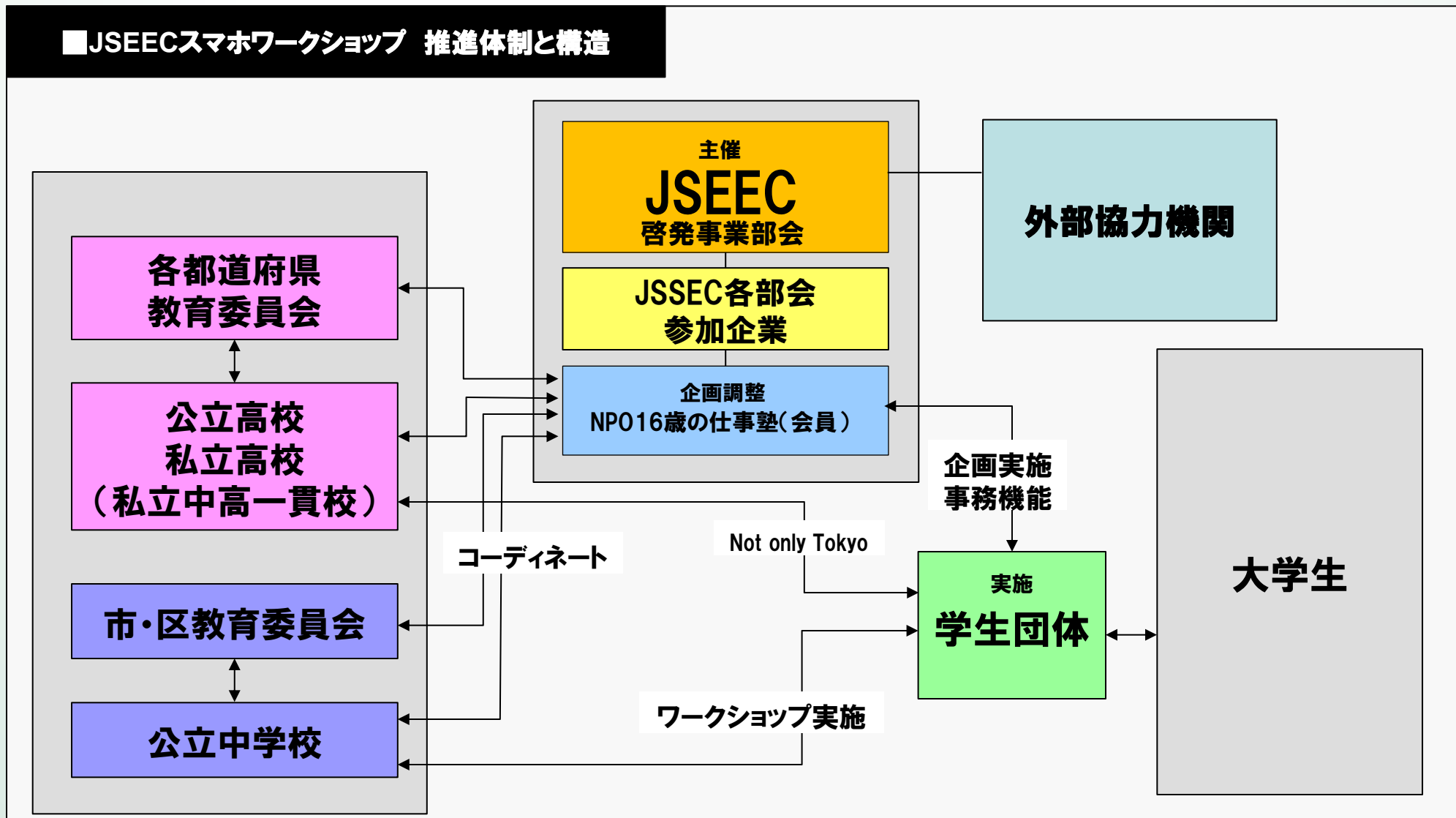
ワークショップに参加した高校生の意見を集約したコンテンツの公開

4. 期待される効果

- ①スマートフォンの安全で安心な使い方が中高生、学校の先生、教育委員会、保護者など**全ての教育関係者の理解が広まる。**
- ②また活動のパブリシティ効果によりスマートフォンの安全で安心な**使い方社会的理解が深まる。**
- ③スマートフォンの安全教育の**人材不足を補う。**
- ④実情に即した教育マニュアルを基に、**効果的なセキュリティ教育ツール開発への貢献**
- ⑤**次の社会を担う大学生に対するセキュリティ意識の向上。(人材育成)**

■教育WG活動計画

■JSEECスマホワークショップ 推進体制と構造



■教育WG活動計画

◎JSEECスマホワークショップ導入計画

